



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月28日

上場会社名 イビデン株式会社

上場取引所 東名

コード番号 4062 URL <https://www.ibiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 武志

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部副本部長 (氏名) 佐野 尚 TEL 0584 - 81 - 3111

四半期報告書提出予定日 2020年10月30日 配当支払開始予定日 2020年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	143,991	0.3	15,182	98.5	16,134	90.4	11,684	199.9
2020年3月期第2四半期	144,354	0.1	7,647	30.2	8,475	7.9	3,896	29.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 17,611百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 452百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	83.61	
2020年3月期第2四半期	27.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	538,447	288,625	52.5	2,024.96
2020年3月期	518,619	273,934	51.7	1,920.19

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 282,925百万円 2020年3月期 268,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		20.00	35.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	4.7	27,000	37.2	27,000	26.4	15,000	32.4	107.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	140,860,557 株	2020年3月期	140,860,557 株
2021年3月期2Q	1,141,543 株	2020年3月期	1,124,913 株
2021年3月期2Q	139,744,695 株	2020年3月期2Q	139,734,787 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国を中心に回復の兆しが見られるものの、前年度終盤からの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行による経済活動の減速を受け不安定な状況が続いております。国内経済も、足元では輸出や生産の一部に持ち直しの動きが見られるものの、不安定な世界経済の動向に伴う影響を受け、企業をとりまく経営環境は依然不透明な状況にあります。

半導体・電子部品業界の市場は、スマートフォン市場は前年対比でマイナス成長となりましたが、世界的なテレワークの急速な普及に伴い、パソコン市場が好調に推移したことに加え、データセンター向けサーバー市場を中心とした市場も、概ね堅調に推移したこともあり、全体としては成長傾向で推移しました。

自動車業界の排気系部品市場は、第1四半期(4-6月期)を中心に自動車販売台数が世界的に大きくマイナス成長となったことに加えて、欧州乗用車市場におけるディーゼル車販売比率の低下が継続するなど、厳しい状況が継続しましたが、第2四半期(7-9月期)に入り、中国市場を中心に急速な回復基調にあります。

このような情勢のもと、当社におきましては、2018年度より5ヵ年の中期経営計画「To The Next Stage 110 Plan」を始動しており、今年度は折り返しの年となります。中期経営計画の達成に向け、人材育成を基盤に、伸びる市場に対して積極的に経営資源を投入し、既存事業の競争力強化と新規事業の拡大による安定した成長の実現に向けた取り組みを進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,439億91百万円と前年同期に比べ3億62百万円(0.3%)減少しました。営業利益は151億82百万円と前年同期に比べ75億34百万円(98.5%)増加しました。経常利益は161億34百万円と前年同期に比べ76億58百万円(90.4%)増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益に关しましては116億84百万円と、前年同期に比べて77億87百万円(199.9%)増加しました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

電子事業

パッケージ(PKG)事業におきましては、世界的なテレワークの急速な普及により、パソコン向けパッケージ基板の需要が好調に推移した結果、売上高は前年同期に比べ増加しました。

マザーボード・プリント配線板(MLB)事業におきましては、ハイエンドスマートフォン向けの売上は減少しましたが、モジュール基板の売上が堅調に推移した結果、売上高は前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、電子事業の売上高は740億95百万円となり、前年同期に比べ18.0%増加しました。同事業の営業利益は、PKG事業における売上増加による効果などにより、132億31百万円となり、前年同期に比べ150.1%増加しました。

セラミック事業

自動車排気系部品であるディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)は、COVID-19の影響による自動車メーカーの生産減に加え、欧州市場を中心としたディーゼル乗用車比率の低下による影響を受け、第1四半期を中心に、売上高は前年同期に比べ大幅に減少しましたが、収益改善に向けた各種の取り組みが奏功し、売上・営業利益ともに回復基調にあります。

触媒担体保持・シール材(AFP)は、第1四半期においては、自動車市場全体のマイナス成長による影響を受けましたが、第2四半期以降の中国市場を中心とした自動車市場の回復基調を受け、売上・営業利益ともに堅調に推移しております。今後の自動車市場の成長の中心となる中国市場におけるシェア拡大に向け、計画通り中国における新工場の立上げを進めてまいります。

NOx浄化用触媒担体(SCR)は、主に石炭火力発電所で使用される定置式の脱硝触媒の販売がおおむね堅調に推移したことにより、売上高は前年同期に比べ増加しました。

特殊炭素製品(FGM)は、半導体市場が引き続き調整局面であることに加え、COVID-19の影響による車輻・航空部門の減速などにより、売上高は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、セラミック事業の売上高は383億65百万円となり、前年同期に比べ17.1%減少しました。同事業の営業損失は1億43百万円(前年同期は3億32百万円の営業利益)となりました。

その他事業

建設部門におきましては、COVID-19の流行拡大に伴い、一部民間工事の中断・延期がありましたが、発電プラント事業の受注が堅調に推移し、売上高は前年同期に比べ増加しました。

建材部門・その他事業におきましては、COVID-19によって抗ウイルスへの関心が高まり、抗ウイルスメラミン化粧板・関連商材は増加しましたが、外出自粛の影響を受け、石油製品等の販売が減少し、全体として前年同期に比べ売上高は減少しました。

以上の結果、その他事業の売上高は315億30百万円となり、前年同期に比べ10.7%減少しました。同事業の営業利益は、24億12百万円となり、前年同期に比べ8.0%増加しました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	175,151	135,708
受取手形及び売掛金	69,013	73,809
商品及び製品	12,416	13,732
仕掛品	13,248	16,980
原材料及び貯蔵品	19,615	22,985
その他	10,934	15,670
貸倒引当金	△136	△131
流動資産合計	300,244	278,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	56,249	73,877
機械装置及び運搬具（純額）	43,322	54,504
土地	19,800	19,859
リース資産（純額）	7	44
建設仮勘定	48,731	47,779
その他（純額）	5,403	5,807
有形固定資産合計	173,514	201,873
無形固定資産	4,486	4,567
投資その他の資産		
投資有価証券	34,461	48,373
長期貸付金	8	8
繰延税金資産	4,463	3,279
その他	1,684	1,832
貸倒引当金	△244	△243
投資その他の資産合計	40,374	53,250
固定資産合計	218,374	259,692
資産合計	518,619	538,447

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,555	45,610
短期借入金	30,030	30,030
1年内償還予定の社債	-	15,000
未払金	18,188	20,288
未払法人税等	3,016	2,840
賞与引当金	3,906	4,197
役員賞与引当金	132	-
関係会社整理損失引当金	763	321
設備関係支払手形	7,721	9,101
その他	11,422	12,808
流動負債合計	120,736	140,198
固定負債		
社債	50,000	35,000
長期借入金	70,000	70,000
リース債務	38	29
再評価に係る繰延税金負債	68	68
退職給付に係る負債	827	849
株式報酬引当金	250	257
繰延税金負債	1,644	2,369
その他	1,118	1,048
固定負債合計	123,948	109,623
負債合計	244,684	249,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	64,579	64,579
利益剰余金	128,578	137,464
自己株式	△2,575	△2,682
株主資本合計	254,734	263,513
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,232	14,740
土地再評価差額金	160	160
為替換算調整勘定	4,191	4,511
その他の包括利益累計額合計	13,584	19,412
非支配株主持分	5,615	5,700
純資産合計	273,934	288,625
負債純資産合計	518,619	538,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	144,354	143,991
売上原価	112,777	105,282
売上総利益	31,576	38,709
販売費及び一般管理費	23,928	23,527
営業利益	7,647	15,182
営業外収益		
受取利息	147	74
受取配当金	556	525
持分法による投資利益	-	0
為替差益	288	194
その他	270	513
営業外収益合計	1,263	1,308
営業外費用		
支払利息	49	128
社債発行費	146	-
持分法による投資損失	0	-
その他	239	227
営業外費用合計	435	356
経常利益	8,475	16,134
特別利益		
固定資産売却益	95	42
投資有価証券売却益	-	25
その他	17	1
特別利益合計	112	69
特別損失		
固定資産除却損	850	696
投資有価証券売却損	45	-
関係会社整理損	458	-
割増退職金	675	-
支払補償費	-	996
災害による損失	-	184
その他	70	42
特別損失合計	2,100	1,920
税金等調整前四半期純利益	6,486	14,283
法人税等	2,520	2,550
四半期純利益	3,966	11,733
非支配株主に帰属する四半期純利益	69	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,896	11,684

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,966	11,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,547	5,560
為替換算調整勘定	△6,966	317
その他の包括利益合計	△4,418	5,878
四半期包括利益	△452	17,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△529	17,512
非支配株主に係る四半期包括利益	76	99

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症に伴う会計上見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	電子	セラミック	計				
売上高							
外部顧客への売上高	62,767	46,268	109,036	35,317	144,354	—	144,354
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	102	103	8,286	8,390	△8,390	—
計	62,768	46,371	109,140	43,604	152,744	△8,390	144,354
セグメント利益	5,290	332	5,622	2,232	7,855	△207	7,647

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△207百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの利益ごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「セラミック」における子会社の解散に伴い、建物及び構築物、土地について、帳簿価額を回収可能額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては210百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	電子	セラミック	計				
売上高							
外部顧客への売上高	74,095	38,365	112,461	31,530	143,991	—	143,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	82	84	12,141	12,225	△12,225	—
計	74,097	38,448	112,545	43,672	156,217	△12,225	143,991
セグメント利益 又は損失(△)	13,231	△143	13,087	2,412	15,499	△317	15,182

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△317百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの利益ごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「建設」として記載していた報告セグメントについては、量的な重要性が乏しくなったため、「その他」の区分に含めております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。